



2024年3月1日

各位

会社名 株式会社Q P S 研究所
代表者名 代表取締役社長 CEO 大西 俊輔
(コード：5595、東証グロース市場)
問い合わせ先 代表取締役副社長 COO 市來 敏光
(E-mail：ir@i-qps.com)

投資家の皆さまより寄せられたご質問及び回答内容公開のお知らせ

平素より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

当社は、黎明期にある宇宙産業に属しながら、株式を上場する数少ない企業として、株式市場において広く投資家の事業理解を促進する責任があるものと認識しております。そのような認識の下、2023年12月6日の当社株式の上場直後より、投資家の皆さまから数多くのご質問をいただき回答いたしました。

時点のずれによって多少の齟齬が生じる可能性があります。最新の当社方針に基づく直近の回答内容を以下のとおり公表いたします。本公表は、情報発信の強化及びフェアディスクロージャーの観点から、今後も定期的を実施させていただく予定です。

当社は、決算情報の漏洩を防ぎ、公平性を確保するため、各四半期決算期末日の翌日から決算発表日までを沈黙期間としています。この期間は、決算に関する質問への回答やコメントを控えさせていただきますのでご了承ください。ただし、この沈黙期間中に業績予想を大きく乖離する見込みが出てきた場合には、適時開示規則に従い適切に開示いたします。なお当社2024年5月期第3四半期の決算発表は、2024年4月12日17:00頃を予定しております。

【お問い合わせフォーム】

<https://i-qps.net/contact/>

お問い合わせ内容「投資に関するお問い合わせ」をご指定ください。

当社では、投資家の皆さまからのご質問に公平かつ正確に対応するべく、お電話によるお問い合わせには対応しておりません。ご質問については、上記のお問い合わせフォームへ寄せられた内容に、順次対応しております。現在、その趣旨にそぐわない投稿が多数寄せられ、業務に支障をきたしております。下記に該当する投稿には、今後回答を差し控えますので、あらかじめご了承ください。

- ・非公開情報に関するお問い合わせ：足元の業績動向、将来の開示内容・開示予定、個別の商談状況、展示会の出展予定、公募案件への応募状況、各衛星の撮影実績、公表前のロケット打上げ日時等
- ・株価対策など金融商品取引法 第166条「重要事実」に該当する可能性のあるお問い合わせ
- ・株価動向など株式市場の値動に関するお問い合わせ
- ・誹謗、中傷が含まれるお問い合わせ
- ・ご意見やご感想

当社は、投資家の皆さまにお知らせすべき重要な事象が発生した場合、適時開示規則に従い公平に適宜情報を開示することとしております。また当社から回答した内容について、当社の許可なく回答内容の一部もしくは全体を転用、二次利用し、お問い合わせいただいた投資家以外に開示することは、固くお断りしております。2024年3月1日現在において、当社が開示を許可させていただいた物はございませんのでご注意ください。

1. 当社業績に関するお問い合わせ

Q1. 過去の業績との比較は？

A1. 今期（2024年5月期）第1四半期までの当社業績は、実証試験機（QPS-SAR 2号機）1機による画像販売に支えられたものでした。また第2四半期からは、当社初の商用機（QPS-SAR 6号機）による画像販売が開始し、第2四半期累計期間において前期（2023年5月期）1年間の売上高を上回っている他、2023年9月から11月までの3か月間は短期的な営業黒字化を達成いたしました。

また2024年4月には、同じく商用機であるQPS-SAR 5号機による画像販売も開始が見込まれ、今後も売上高を大きく成長させていく見込みであることから、現時点において過去の業績との単純な比較は難しいものと考えております。

Q2. 四半期ごとの偏重傾向は？

A2. 現時点において季節性の傾向はございません。当社事業における主要なコストである、衛星の開発・打上げコストは減価償却の対象であり、画像販売が可能となる定常運用の開始と同時に、定額法による5年間の償却が始まります。稼働する衛星の機数増加に合わせて、償却額は今後徐々に増加していきます。

なお、当社は衛星の開発・打上げリスクに保険（以下、宇宙保険）を付保しており、その費用は従来、打上げ時に一括計上しておりました。保険料は各種条件によって異なりますが、1機あたり数千万円が計上されるため、打上げが一時期に集中した場合には一定のコストインパクトが生じる見込みでした。今期（2024年5月期）第2四半期より会計処理が変更となり、宇宙保険の保険料は衛星の開発・打上げコストと同様に減価償却の対象となりましたので、今後は一層、経営実態に即した業績をお示しできるものと考えております。

Q3. 衛星の打上げに失敗した場合の影響は？

A3. 宇宙保険が実際に支払われた実績は、「東京証券取引所グロース市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」（2023年12月6日開示）や「2024年5月期第2四半期決算説明資料」（2024年1月15日公開）に記載のとおりです。前期（2023年5月期）における影響額は、▲52百万円（固定資産除却損 1,541百万円 - 受取保険金 1,489百万円）となりました。

2022年10月：イプシロン6号機の打上げ失敗に伴い、QPS-SAR 3・4号機を同時に喪失

QPS-SAR 3・4号機除却損として、1,541百万円を特別損失に計上

2023年2月：保険金1,489百万円を受領し、特別利益を計上

Q4. これまでの受注実績は？

A4. 「2024年5月期第2四半期決算説明資料」P. 20に記載のとおり、2022年3月以降で内閣府や経済産業省等より、総額約60億円分の案件を獲得しております。本日2024年3月1日付で公表の「大型受注に関するお知らせ」の受注金額56億円は、含まれておりません。当社が今後獲得する案件に関しては、適時開示規則に従い公平に適宜情報を開示いたします。

Q5. 各衛星の撮影実績は？

A5. 当社の売上内容には、主要な取引先である官公庁において、機密性の高い情報として取り扱われる物が含まれております。したがって、売上内容の類推が可能となるKPI等に関しては、上場以前より細心の注意を払って特定しております。現時点において、当社における画像販売の枚数等を公表する予定はございません。

2. 衛星打上げに関するお問い合わせ

Q1. 次の打上げはいつ発表する？

A1. ロケットの打上げ日時は、打上げ事業者から許可されるまで当社から公表することはできません。現時点ではQPS-SAR 7号機・8号機の打上げ事業者と契約締結済ですが、打上げ事業者や明確な打上げ日時は引き続き非公開です。当社としては、打上げ事業者から許可を得られ次第、打上げウィンドウを公表していく予定です。

なお、昨年（2023年）中のロケット打上げ件数は、全世界で200件を超えた旨が報道されております。今後、打上げられる各ロケットにQPS-SARが搭載されるか否か、個別に回答することは困難です。上記のとおり、当社は公表が可能になった時点で公表いたしますが、ロケットのペイロード（積載物）は打上げ事業者からも公表されますので、併せてご確認ください。

Q2. 打上げウィンドウとは？

A2. 一般的にロケットの打上げ日時は、天候その他の条件が整うまで確定することはございません。予定は「打上げウィンドウ」として、打上げ事業者により一定の期間や特定の日時が設定され、そ

の期間内あるいは特定の日時以降に打上げが実施されます。

Q3. 打上げ日時はいつ確定する？

A3. ロケットの打上げ準備が進むと共に、打上げウィンドウは徐々に期間が絞られていきます。最終的には打上げ事業者において、天候やその他の条件が十分に整ったことを確認して決定されます。打上げ事業者が打上げ日時を正式決定するまでは、衛星会社側に連絡がなされることはなく、連絡が直前となる場合も一般的です。

また、航空機の出発が前の便の遅れや天候、機材トラブルによって遅れることと同様に、ロケットも前のロケットの打上げ時期や天候、当日の機材トラブルに伴い延期となりえることをご理解いただけますと幸いです。

Q4. QPS-SAR 5号機はどうなった？

A4. 2023年12月15日に打上げられたQPS-SAR 5号機は、初画像（ファーストライト）の取得にも成功し、順調に初期運用を進めております。現在はお客様からの画像取得の注文に対して、迅速かつ的確に応えられるよう、安定稼働に向けた各種条件の最終調整を進めております。画像販売が可能になる定常運用の開始は、今期中（2024年4月頃）を見込んでおります。

当社では、打上げから現在までの時系列に沿って、東京証券取引所を通じて以下3点のPR情報を公開しております。

1. 2023年12月15日
「小型SAR衛星QPS-SAR 5号機 打上げ完了に関するお知らせ」
2. 2024年1月17日
「小型SAR衛星QPS-SAR 5号機の初画像（ファーストライト）公開に関するお知らせ」
3. 2024年2月1日
「小型SAR衛星QPS-SAR 5号機の高精細モードによる初画像の公開に関するお知らせ」

Q5. 今後の打上げ計画は？

A5. 2028年5月期に24機体制を構築し、その後36機体制の構築に向けた検討を進めていく計画でございます。「2024年5月期第2四半期決算説明資料」P. 26に記載のとおり、現時点における今後の打上げ計画は以下のとおりです。

- 今期（2024年5月期）4機 ・ ・ ・ QPS-SAR 5号機・6号機打上げ済につき、残り2機
- 来期（2025年5月期）4機
- 再来期（2026年5月期）6機

3. 事業展開に関するお問い合わせ

Q1. 資金は十分にある？

A1. 「2024年5月期第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）」に記載のとおり、2023年11月末時点における現金及び預金の残高は15.6億円です。2023年10月24日付で締結したシンジケートローン契約に基づく組成金額50.0億円の内、長期借入金に計上している金額は3.0億円（2023年11月末時点）です。また2023年12月6日付の東京証券取引所グロース市場への株式上場に伴う公募により、36.7億円（オーバーアロットメントによる売出分を含む）の資金調達を実施しており、QPS-SAR18号機までの打上げに必要な資金と、継続的な事業運営に十分な資金を確保しております。

Q2. QPS-SAR 36機体制の先の構想は？

A2. 「2024年5月期第2四半期決算説明資料」P. 38に記載のとおり、当社は今後のビジネス展開として大きく3つの路線を構想しております。小型SAR衛星による事業を開始するに際して、当社は事前に入念な検討を実施しており、現時点では実現・収益化が難航するアイデアを除外していく中で、現在の事業展開に至っております。当面は国内官公庁からの需要を満たしていきつつ、国内民間・海外市場への展開等を経て、QPS-SAR 36機体制の構築を優先的に進めてまいります。

Q3. グッズ販売の可能性は？

A3. 多くの方々に当社ならびにQPS-SARに対して愛着を持っていただき、あわせてグッズ販売のお問い合わせを多数いただき、ありがとうございます。しかしながら、当社はQPS-SARの開発・運用に経営資源を集中しており、現時点ではグッズ等の販売は計画しておりません。また株主に対する公平性の観点等から、2024年8月に予定されている定時株主総会におけるグッズの配布や販売等も、予定しておりません。

4. IR活動に関するお問い合わせ

Q1. 説明会等は開催する？

- A1. 今期（2024年5月期）第3四半期中には、IPOに伴う社長インタビュー動画の公開や、機関投資家・アナリストを対象とした決算説明会、個人投資家向け会社説明会を開催しました。

【社長インタビュー動画】

〈イベントス様〉 <https://youtu.be/AufWEph6CfA>

〈ストックボイス様〉 <https://youtu.be/pfeOoSDGKx4>

【第2四半期決算説明会】2024年1月26日配信

〈動画〉 https://www.irmovie.jp/nir2/?conts=i-qps_202401_tv2s

〈書き起こし〉 <https://finance.logmi.jp/articles/379151>

【個人投資家向け会社説明会】2024年2月23日配信

〈動画〉 https://youtu.be/Wyf_CvS3p2A

Q2. 交渉中の案件や今後の開示予定は？

- A2. 当社は、株主・投資家の皆様をはじめとするすべてのステークホルダーの皆様との信頼関係を構築し、当社の価値を正当に評価していただくことをIR活動の目的とします。そのため、ステークホルダーとの建設的な対話の実現に努めつつ、当社の実態を正確に認識・判断できるよう情報を公平かつ適時・正確に提供することを基本方針といたします。

一般的に提携前/提携後の別に関わりなく、先方と当社の間には守秘義務がございますので、特定の顧客との交渉状況・交渉自体の有無等も含め、投資家から寄せられたお問い合わせに対して当社から個別に回答することはございません。発信ができる内容に関しては、適切な時期に公表させていただきますたく存じます。

Q3. 問い合わせ内容は公開してもよい？

- A3. 当社では、お問い合わせフォームに寄せられた質問に対して、IRチーム内で慎重に内容を検討した上でメールによる回答を差し上げております。また、回答の際には「弊社の許可なく、回答内容の一部もしくは全体を転用、二次利用し、お問い合わせいただいた投資家以外に開示することは、固くお断り」する旨を、2023年12月27日より注釈させていただいております。

現在、一部SNS等において回答内容の転用を複数確認しておりますが、当社が許可させていただいた物はございませんのでご注意ください。ご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

Q4. QPS-SARに関するアイデアを提案したい

- A4. 当社では、知的財産権の保護等のリスク対策の観点から、お問い合わせフォームを利用したご提案（企画、アイデア、デザイン等）は一切募集しておりません。万が一、企画書等が寄せられた場合には、内容を確認することなく直ちに廃棄または削除させていただきます。

また当社は、ご提案内容を秘匿する等の義務を負わず、当社の事業やサービス等がご提案内容と同一または類似した場合であっても、ご提案に対する金銭の支払いを含むいかなる責任も負わないものとさせていただきます。

Q5. 株式分割に関する考え方は？

- A5. 東京証券取引所では、望ましい投資単位として50万円未満という水準を明示しているため、直近の当社事業年度末（2024年5月末）時点において投資単位が50万円を超えていた場合には、投資単位の引下げに関する考え方及び方針等について開示が必要になる旨を認識しております。

現時点において、当社は株式分割を実施する時期や金額等は公表しておりません。

Q6. 過去の問い合わせ内容は？

- A6. 本公表は、当社株式の上場月である2023年12月より公開を開始しております。情報発信の強化及びフェアディスクロージャーの観点から、今後も各四半期末に実施させていただく予定です。

・ <https://ssl4.eir-parts.net/doc/5595/tdnet/2377670/00.pdf>（2023年12月29日公開）

以上